

製品名: ENPP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87392**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:105 kDa; Observed MW:140 kDa

抗原情報

遺伝子名	ENPP1
別名	M6S1; NPP1; NPPS; PC-1; PCA1; ARHR2; COLED; PDNP1
遺伝子 ID	5167
SwissProt ID	P22413
免疫原	ヒト ENPP1 の合成ペプチド

背景

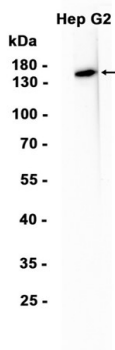
この遺伝子は、エクトヌクレオチドピロホスファターゼ / ホスホジエステラーゼ（ENPP）ファミリーのメンバーです。コードされる

タンパク質は、2つの同一のジスルフィド結合サブユニットからなるII型膜貫通糖タンパク質です。このタンパク質は幅広い特異性を有し、ヌクレオチドとヌクレオチド糖のホスホジエステル結合、およびヌクレオチドとヌクレオチド糖のピロリン酸結合を含む、様々な基質を切断します。このタンパク質は、ヌクレオチド 5'三リン酸を対応する一リン酸に加水分解する機能を持つと考えられており、ジアドenosinポリリン酸も加水分解する可能性があります。この遺伝子の変異は、「特発性」乳児動脈石灰化、脊椎後縦靭帯骨化症 (OPLL)、およびインスリン抵抗性と関連付けられています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



ENPP1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HepG2 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。